

会
報

飛 躍

多賀城・七ヶ浜商工会

No.39

多賀城・七ヶ浜「大復興祭」 ～たがじょう市民市・ボックと収穫祭～



多賀城・七ヶ浜「大復興祭」において多賀城市市制施行40周年記念企画として友好都市の天童市より天童花笠踊りなどの華やかな郷土芸能が披露されました。(関連記事5頁)

主 な 記 事

理事会、組織・財政確立委員会	2 P
三部会合同視察研修会、支部対抗グラウンドゴルフ大会	3 P
金融懇談会、会長との対談コーナー	4 P
大復興祭、青年部・女性部コーナー	5 P
会員さんコーナー「こんにちは輪」	6 P
新会員紹介、融資制度等のお知らせ	7 P
新年賀詞交歓会、新春年賀の会、年末調整指導	8 P

平成23年度商工会では、

「**協調と統一～前進あるのみ～**」をキャッチフレーズに、東日本大震災で被災された会員皆様の1日も早い復興のため、役職員一体となって各種経営支援を展開して参ります。



多賀城事務所

〒985-0872 多賀城市伝上山 3-1-12
TEL(022)365-7830 FAX(022)365-7880

七ヶ浜事務所

〒985-0802 七ヶ浜町吉田浜字野山 5-1
TEL(022)357-3912 FAX(022)357-5125

E-mail:tagajo@fine.ocn.ne.jp

URL <http://www.taga7.miyagi-fsci.or.jp/>

E-mail:nanahama@cocoa.ocn.ne.jp

臨時総代会提出議案を審議

理事会

平成23年度第3回理事会は、11月8日、多賀城会館において行われ、組織・財政確立委員会からの答申事項や臨時総代会提出議案など7議題が熱心に議論された。



理事会

臨時総代会提出議案では、組織・財政確立委員会からの答申に基づいて提案される定款や支部規約の一部改正(案)、役員選任規約の制定(案)について審議されたほか、東日本大震災の影響により暫定で承認いただいた平成23年度当初予算について、会

員数の把握が進み全国商工会連合会を通じて全国各地の商工会から寄せられた義援金の金額も明確になってきたことから、把握されたこれらの情報を盛り込んだ収支補正予算(案)について審議がなされ、臨時総代会提出議案として決定した。臨時総代会は、11月25日(金)午後2時から多賀城会館で開催が決定。

また、新会員の加入承認について審議が行われ、法定会員14名、特別会員1名の加入が承認された。その結果、会員数は1,249名となり、東日本大震災の影響により会員的大幅な減少が心配されていたが、前年度末から25名の減少にとどまり、組織率も52・1%となったことが報告された。

平成22年度答申内容を再検討

組織・財政確立委員会

委員会は、10月21日多賀城会館で開催され、平成22年度に答申した内容の再検討が行われた。

年度当初、東日本大震災により会員が大幅に減少し、平成22年度で答申された支部区割りの見直しや本会役員定数の見直し、総代定数の見直しに大きく影響することが予測されたため、会員事業所の経営継続状況調査を行い、その結果に基づき再検討することとしたものである。

調査の結果、支部ごとの会員数は、最も減少した支部でも19名にとどまったため、支部区割りの見直しについては、平成22年度の答申どおりとし、総代の定数と役員の定数については、9月30日現在の会員数で見直すこととした。

委員会の答申は、11月8日開催の理事会に報告され、11月25日開催の臨時総代会で定款や関連する規約の改正案等として審議される。

東日本大震災からの復興に向けての支援策について懇談

10月28日、和食の小島にて、商工議員との懇談会が開催された。商工業を営んでいる多賀城市議会議員6名と七ヶ浜町議会議員6名、商工会

正副会長と商業部会長が出席した。

「東日本大震災の復興に向けて」をテーマに本会から行政への要望事項について懇談し、地元中小・小規模事業者への優先発注と被災者雇用等に対する支援施策等地元中小・小規模事業者による雇用の支援確保について出席された商工議員と活発な意見交換を行った。

なお、11月に本会から右記内容についての要望書を両行政へ提出し、一日も早い復興のために支援策を講じていただくよう強く要望した。



懇談会風景

都道府県商工会連合会会長が視察に来会

9月30日、本会多賀城会館に都道府県の商工会連合会会長20名が来会された。

東日本大震災について、まず宮城県商工会連合会より県内の被災概要について、次に安住会長より多賀城・七ヶ浜地区内の被害状況や被災商工業者のおかれた現状について説明し、被災した地区内を視察。

安住会長から大規模災害時の発電機の必要性を強調され、出席された各県連においても今後、その対応が検討されている。



ありがとうございます!!

～各地より義援金と支援物資～

東日本大震災で甚大な被害を受けた当商工会地区へ、全国の商工会からの義援金1,172万3千円をはじめ、多大な支援物資をいただきました。

ご支援をいただいた方々は次の通りです。大変感謝申し上げます。

平成23年11月25日現在 (順不同・敬称略)

福山北商工会(広島県福山市)
 三重大学医学部の医療チーム(三重県多気町)
 全国青色申告会総連合
 上三川町商工会(栃木県)
 富山県商工会連合会
 大河原町商工会
 株式会社ノースプロダクション

北海道十勝地区青年6団体
 アクサ生命保険株式会社
 宮城県火災共済協同組合
 宮城県中小企業共済協同組合
 株式会社 佐藤煙火
 南アルプス市商工会(山梨県)
 南アルプス市商工会女性部(山梨県)

西和7町商工会青年部(奈良県)
 三郷町商工会(//)
 奈良パークホテル(//)
 阿蘇市商工会(熊本県)
 日本共産党中央委員会
 労働保険事務組合連合会
 太宰府市商工会(福岡県)

井原宏之(福岡県太宰市)
 高岡市商工会(富山県)
 富山県商工会連合会
 大間々町商工会(群馬県)
 のむら商工振興会(富山県高岡市)



優勝した中央支部

会員・支部間の親睦と交流、支部活動の活発化を目的に、10月2日多賀城小学校を会場に開催された。

中央支部 栄冠に輝く

第1回支部対抗グラウンドゴルフ大会

高橋副会長の始球式後、各支部代表6名で1チーム、計11チームで対抗戦を行った。ホールインワンなどの好プレーが出るたびに、応援に駆けつけた仲間達からも歓声が上がった。会場は活気に溢れていた。ゲーム終了後、団体・個人上位入賞者等が表彰された後、温かい羊煮を食べながら、互いの健闘を称えあうなど、支部間を越えた交流も見られ、大変有意義な大会となった。

はじめに、平泉町役場にて平泉町世界遺産推進室室長補佐千葉信胤氏より、平泉の文化遺産が世界遺産へ登録に至るまでのプロセスについて説明を受けた後、地域に及ぼす経済効果や地域活性化策などについて意見交換がなされた。

平泉の文化遺産を視察

三部会合同視察研修会

続いて、平泉町観光ガイドの引率により中尊寺などを拝観し、本会地域との歴史的結びつきについて学ぶなど、大変有意義な研修会となった。



観光ガイドの説明を熱心に聞き入る参加者たち

先進地商工会に学ぶ

南アルプス市商工会視察研修

10月17日、大震災の義援金を頂いた御礼に、正副会長をはじめ10名で山梨県の南アルプス市商工会へ視察研修会を実施した。

南アルプス市商工会は、商工貯蓄共済獲得実績が4年連続全国1位、組織率は70%超、自己財源比率は50%超である全国屈指の商工会。地域と協働する商工会を目標に、職員巡回を強化し会員ニーズを随時把握することで満足度の高い事業を実施、窓

口サービスを有料とする受益者負担の徹底などに取り組んでいるとのことで、大変有意義な研修会となった。



説明する南アルプス市商工会 小林寛樹会長(左)

友好都市での物産販売

太宰府市民政庁まつり復興支援物産展

10月1日、福岡県太宰府市民政庁まつりにおいて、多賀城・七ヶ浜地域の物産を販売する復興支援物産展が開催。

この物産展は、本会に対する復興支援の一環として、多賀城市と友好都市である太宰府市の太宰府市商工会が企画したもの。当日は、安住会長も現地に駆けつけ、物産のPRと販売促進に努めた。復興

を支援しようと物産を買い求める多くの来場者からは、温かい激励の言葉をいただいた。



復興を支援しようと企画された復興支援物産展

商工会長との対談コーナー

これからのまちづくりの展望について



東北学院大学教養学部地域構想学科
教授 柳井雅也 氏
泉キャンパス
住所 仙台市泉区天神沢二丁目一

対談の第二弾は、多賀城市

総合計画審議会会長であり、多賀城市復興検討委員会の委員でもある東北学院大学の柳井教授にお会いしました。

安住会長 震災後のあるべき姿をお聞かせください。

柳井先生 最初に防災面をお話します。多賀城市の場合、洪水対策のみで津波対策が考えられていなかったことが課題であり、今後は防災への備えをまず考えていかなければなりません。

七ヶ浜町の場合は高台移転とか、ある程度安全な場所に集落を形成する。それができない場合は山のもとから高いところに避難路をつくるなど、三陸型の避難のやり方が参考になると思います。

からは大企業誘致ばかりに目を向けるのではなく、コミュニティビジネスを多数立ち上げて、そこから新しい雇用を生み出す。そういう発想も大事になってくるのではないのでしょうか。そのための復興特区の活用も大事だと思います。



安住会長 今後のまちづくりのビジョンとは？

柳井先生 多賀城市は、まちづくりの専門家や産業政策が得意な研究者、それに芸術家を交えて勉強会を行いました。ここで、まちづくりのレイアウトをどうするかという議論をしました。その中で、歴史性や地域の良さを残しながら、新しいまちづくりを行う必要があると思うようになりました。例えば農業の6次産業化を考えるだけでなく、コミュニティビジネス（地域の課題をビジネスとして解決していく）との連携や、ハイテク企業との共同研究も視野に入れて、これをまちづくりと連動させるような「合わせ技」も話し合いました。これ

七ヶ浜は、リゾート、滞在型、高齢者向け居住等、いくつかのキーワードで、のんびり暮らしていきけるような空間を創造していく方向がいいと思います。その一方で、七ヶ浜は世界中から観光客を集めてリゾート地として発展している潜在力もあると考えます。

柳井先生 今後一気に高齢化することを予想すると、まちづくりの思想を変えるべきだと思います。一番良いテクニクは、産業エリア、住宅エリア、行政エリアといったゾーニング（都市計画による地区制）をしたまちづくりをしないことです。歩いて暮らせるまちはゾーニングをした瞬間に実現が難しくなります。生活に便利な店や施設がコンパクトにまとまっているほうが暮らしやすいと思います。

安住会長 角度を変えたまちづくりが必要だと思いませんか？

柳井先生 今後一気に高齢化することを予想すると、まちづくりの思想を変えるべきだと思います。一番良いテクニクは、産業エリア、住宅エリア、行政エリアといったゾーニング（都市計画による地区制）をしたまちづくりをしないことです。歩いて暮らせるまちはゾーニングをした瞬間に実現が難しくなります。生活に便利な店や施設がコンパクトにまとまっているほうが暮らしやすいと思います。

安住会長 これからは、もう一度原点に立ち返ったまちづくりをしていかななくてはならないと思いますか？

柳井先生 産業の足腰を強くして雇用を創出し、有意なコミュニティビジネスを起すしながら、文化的で住みやすいまちづくりを実現していく必要があります。そのためにも、平日頃から、みんなでも話し合おう、まちの理想をいっしょに語り合おうことが大事だと思います。

二重ローン問題や円滑な資金調達について意見交換

金融懇談会開催

去る11月4日、和食の小島にて、地区内中小企業の年末

資金調達の円滑化を図ることを目的として、信用保証協会・市・町・金融機関の関係者15名と商工会から6名出席のもと金融懇談会が開催された。

東日本大震災以降の業績悪化にともない、地域中小企業を取り巻く環境は、一段と厳しさを増しており、二重ローン問題や事業者の資金繰りを円滑に行えるよう、活発な意見交換が行われた。



金融懇談会風景



対談風景(対談する会長(左)と柳井先生(右))

安住会長 復興の先は？

柳井先生 若い人が、はつらつと働けるように、スマートシティ（環境配慮型の街づくり）やエネルギー産業から先端的な事業を起こしていく。半導体や液晶パネル産業のよ

うな単品生産は、既に中国や韓国等に負けたので、むしろその先のシステム技術（スマートグリッド等）に照準を合わせていく必要があるかもしれない。また、多賀城市には微細加工技術を扱う食品産業が集積する可能性もあると思います。まちづくりは介護・福祉が大事になってくるでしょう。その点で、ヨーロッパの福祉型のスマートシティ構想が参考になると思います。七ヶ浜は可能性があるとあります。それから、いくら経済的に豊かになっても殺伐としたまちでは、やがてよそからの産業関連投資は先細りになるでしょう。

地域の再興の 一歩に 多賀城・七ヶ浜 「大復興祭」



挨拶する安住実行委員長

11月13日、陸上自衛隊多賀城駐屯地にて多賀城・七ヶ浜「大復興祭」〜たがじょう市・ボツケと収穫祭〜が開催された。

この大復興祭は、地域の一日も早い復興と地域発展の契機として、これまで多大なるご支援をいただいた全国の皆様への感謝を込め、多賀城・七ヶ浜地域を代表する秋の祭りが連携し



多賀城市建設職組合による上棟式と餅まき

開催されたもの。

当日は、地元の新鮮な農産・海産物の販売をはじめ、多賀城名物の「やかもち鍋」と七ヶ浜名物の「ボツケ鍋」の無料試食の他、多数の団体による各種イベントも行なわれ、約2万3千人の来場者で賑わいを見せた。



多くの来場者で終日にぎわった



みんな協力、女性部出店

女性部

今年も提供！
おいしい味

出店内容は、たがじょう市民市とボツケと収穫祭で毎年女性部が販売していた、うどん・そば、甘酒、つみれ汁。どの品も毎年好評、自慢の味であり、元気いっぱいい声で「いらっしやいませ！」大震災にあっても何のその。一致団結、今年もおいしい味を来場されたお客様に提供するため、手際よく応対。大盛況のうちに完売となった。

商工会女性部は11月13日、多賀城・七ヶ浜「大復興祭」に出店。25名の部員が参加、販売協力を行った。

青年部

ベガルタ仙台
サッカー教室を開催

青年部主催によるベガルタ仙台サッカー教室が、11月13日開催の「大復興祭」のイベントとして、陸上自衛隊多賀城駐屯地を会場に開催された。当日は66名の小学生が参加し、ベガルタ仙台アンバサダーの平瀬智行氏から基本技術を学んだ。サッカー教室終了後には、青年部からベガルタグッズのプレゼントと平瀬氏のサイン会を行い、参加した小学生を楽しませることができ、有意義なものとなった。



ベガルタ仙台もみんなを応援！

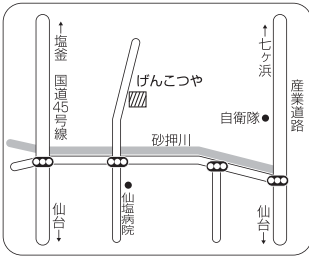
また、「大復興祭」での出店コーナーでは、多賀城市の友好都市である福岡県太宰府市の商工会青年部と共同出店し、お互いの交流がより一層深められた。

みやぎ仙台商工会女性部秋保支部との交流会

10月26日、秋保のホテル華乃湯にて恒例の女性部研修会が開催された。部員16名が参加し、みやぎ仙台商工会女性部秋保支部の部員の方々と交流会を行った。まず皆で自己紹介、東日本大震災発生時の状況や女性部の事業について話が大きい盛り上がり、あっという間に時間が過ぎた。

美味しい昼食に舌鼓を打ってから、待ちに待った温泉に入浴。震災の疲れをリフレッシュする有意義な研修となった。





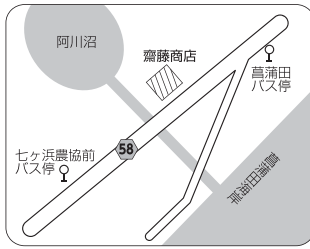
ふあみりーらーめん げんこつや

- ①千葉 伸弘
- ②多賀城市鶴ヶ谷3丁目4-5
- ③366-7411
- ④飲食業

⑤未曾有の悪夢より、早8ヶ月も過ぎ、あの寒く暗い中逃げまどったことが昨日のように思い起こされます。

近所の方々や知らない遠くの方々より食料品・日用品、多くの方々からの叱咤激励をいただき、お得意様の「早く鶴ヶ谷の道に明かりを」の一言で、たたもうと思った店も歯を食いしばり開店にこぎつけました。

これからは皆様よりいただいた胸一杯、腹一杯の真心と情けをまき散らしながら商売をしていこうと思います。
ありがとうございました。



（有）齋藤商店

- ①齋藤 勝良
- ②七ヶ浜町菖蒲田浜字西峠下1-1
- ③357-3328
- ④ガソリンスタンド、LPガス、住宅設備器具取付、仙台市ガス工事店、不動産賃貸業

⑤当社は昭和46年創業以来、台所作りとガス灯油販売した台所とハイウェイまでお客様に愛される企業をモットーに日々努力しております。

また平成23年3月11日金午後2時46分、この度の東日本大震災により被害を受けました。早いもので震災から8ヶ月が経ち、店は4月28日より使用できることとなりました。

地域のみなさんのお役立ちと愛されるお店に社員一丸となつてのりきり頑張ってます。よろしく願い致します。



しんこさ 謝

会員さんコーナー

- ①代表者
- ②所在地
- ③電話番号
- ④業種
- ⑤自店のPR

みお七ヶ浜 (七ヶ浜豆腐店・とうふ屋ら〜めん)

- ①長井 敏和
- ②七ヶ浜町遠山5丁目6-40
- ③395-9477
- ④豆腐屋・ラーメン店

(をしている障がい者就労支援施設)
⑤七ヶ浜のお豆腐屋といえば、「みお」だよねと言われるように、これからも頑張ります！

今年から、七ヶ浜で栽培された大豆「ミヤギシロメ」を使用しています。地産地消にこだわり、味わいよく、豆の香りのする豆腐をこれからも皆様に届けられるようにスタッフ一同努力していきます。

新商品として地元食材を活用した『豆腐スイーツ』を考案中です。近日、お披露目いたします。そして、七ヶ浜海苔三昧、絶賛販売中です。



（有）津田工務店

- ①津田 孝造
- ②多賀城市八幡2丁目7-27
- ③367-1550
- ④建設業

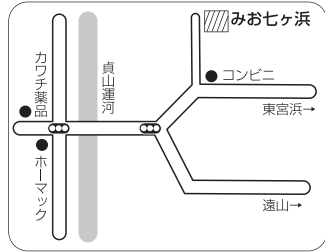
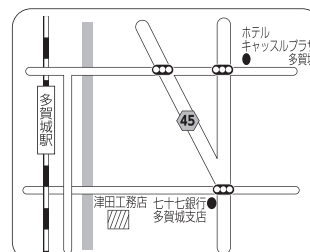
⑤忌まわしい震災を糧として必死に日々を過ごして早8ヶ月ですが、最近心の空間の穴埋めに翻弄されています。

笑顔が沢山こぼれますよう皆で手をつなぎ合いましょう。地元の工務店として信頼をモットーに心地よい住まいの提案をご案内致します。

この度の震災で建物に大変不安な思いをした方が沢山いらしたことと思います。

そんな不安を解消する耐震診断、耐震工事も当社へお任せ下さい。

一日も早い復興をお祈り致します。ファイト！



今度はあなたの出番です。今すぐお電話を！ 多賀城事務所 ☎365-7830・七ヶ浜事務所 ☎357-3912

会員になりました。よろしくお願ひいたします。

No.	事業所名	代表者	住 所	電話番号	業 種
1	銀鱗	小幡 一夫	七ヶ浜町汐見台6丁目2-117	357-4075	飲食業
2	和風レストランどうもん	佐藤 信夫	七ヶ浜町遠山1丁目2-78	366-1447	飲食業
3	東総物流(株)	小林 多吉	多賀城市下馬5丁目4-20	361-3755	貨物運送業
4	H T E C	鈴木 涉	多賀城市大代5丁目10-45	365-0020	建設業
5	(株)小野屋酒店	小野 栄昭	多賀城市大代1丁目9-2	362-1681	酒・たばこ・食料品販売業
6	美彩ダイニング湯田	湯田 伸一	多賀城市中央2丁目2-18	762-8133	飲食業
7	赤間工業	赤間 英樹	多賀城市笠神2丁目3-2-703	781-9904	塗装業
8	(有)アロー商事	千葉 雅弘	多賀城市桜木3丁目1-46	361-3855	飲食業
9	郷右近塾	郷右近剛史	七ヶ浜町遠山2丁目6-20	362-5843	教育サービス業
10	イントレストン ガネーシャ	村上 みえ	多賀城市町前3丁目1-43	365-1887	飲食業
11	システムホーム スガワラ	菅原 洋一	多賀城市山王字山王2区133-10	368-5164	エントバス施工業
12	つがるの味っこ な・ど・わ	小山内 強	多賀城市桜木3丁目1-8-202	365-3112	飲食業
13	建設 佐藤	佐藤 憲高	七ヶ浜町遠山2丁目6-27	365-9577	建設業
14	(株)諏訪工務店	渡邊 好広	七ヶ浜町菖蒲田浜字久保140-1	357-6576	建設業
15	のむら商工振興会	塩谷 雄一	富山県高岡市石瀬6-1	0766-23-4442	商工団体

おめでとうございました

この度、文化の日表彰では3名、多賀城市政功労特別表彰では9名の個人が表彰されました。多賀城市政功労表彰では11名の個人が表彰されました。

○文化の日表彰
石森 胞男 ちんりゆう
阿部 喜彦 寿司喜

消防防功功
柳原 正志 (有)柳原造園

○市政功労特別表彰
石橋 源一 石橋茶舗
菅野 勝衛 菅野造園(株)
伊藤 勲 東グリーン
及川 弘 東グリーン
瀬戸 良昭 ハッピー理容所
鈴木 英子 (有)瀬戸モーターズ
鈴木 那彦 パブリックイン

産業経済特別功
(有)スズキインタ
I ナシヨナル
モード サンノ

○市政功労者表彰
山王 誠治 不動産 星治
星 英男 モード サンノ

地方自治功
菅野 良昭 サンクリエート
中山堂 YOSH

吉田 丁一 焼肉 YOSH

伊藤 一郎 IDA

産業経済功
(有)いとう商事
繁泉米穀店
伊藤 善一 (有)伊藤与工務店
伊藤 孝造 (有)伊藤与工務店
津田 誠次 津田工務店
鎌内 善次 鎌内建業
阿部 善次 (有)阿部善建業

社会福祉功
石垣 ヨシエ (有)イシガキ
濱田 久晴 浜田工業(株)
阿部 昭一 (株)ミヤギ製作所
(会員関係・敬称略)

保衛衛生功
石森 胞男 ちんりゆう
阿部 喜彦 寿司喜

消防防功功
柳原 正志 (有)柳原造園

○市政功労特別表彰
石橋 源一 石橋茶舗
菅野 勝衛 菅野造園(株)
伊藤 勲 東グリーン
及川 弘 東グリーン
瀬戸 良昭 ハッピー理容所
鈴木 英子 (有)瀬戸モーターズ
鈴木 那彦 パブリックイン

産業経済特別功
(有)スズキインタ
I ナシヨナル
モード サンノ

○市政功労者表彰
山王 誠治 不動産 星治
星 英男 モード サンノ

地方自治功
菅野 良昭 サンクリエート
中山堂 YOSH

吉田 丁一 焼肉 YOSH

伊藤 一郎 IDA

産業経済功
(有)いとう商事
繁泉米穀店
伊藤 善一 (有)伊藤与工務店
伊藤 孝造 (有)伊藤与工務店
津田 誠次 津田工務店
鎌内 善次 鎌内建業
阿部 善次 (有)阿部善建業

社会福祉功
石垣 ヨシエ (有)イシガキ
濱田 久晴 浜田工業(株)
阿部 昭一 (株)ミヤギ製作所
(会員関係・敬称略)

災害関連融資制度のお知らせ

運営主体	小規模企業共済	日本政策金融公庫	宮城県
制度名称	特例災害時貸付け	東日本大震災復興特別貸付	みやぎ中小企業復興特別資金
対象者	所有する事業資産が直接被害に遭われた小規模企業共済契約者	①東日本大震災の地震・津波などにより直接被害を受けた中小企業者 ②上記①の事業者などと一定以上の取引のある中小企業者 ③そのほか震災の影響により、業況が悪化している中小企業者	宮城県内に事業所を有し、次のいずれかの証明書又は認定書の交付を受けた中小企業者 ①市町村長が発行する「権証証明書等(東日本大震災による災害によって被害を受けた事実を証するものとして発行されたもの)」の交付を受けた方 ②市町村長が発行する「東日本大震災復興緊急保証」の認定を受けた方
融 資 限 度 額	50万円～2,000万円 ※融資限度額は掛金納付月額に応じて掛金の7～9割の範囲内 ※平成23年4月時点で、契約者貸付の貸付限度額が50万円以上となる方が対象	①②国民生活事業 6,000万円 中小企業事業 3億円(別枠) ③ 国民生活事業 4,800万円 中小企業事業 7億2,000万円	運転資金・設備資金 8,000万円
返済期間(据置期間)	融資額が500万円以下の場合 4年(1年) 505万円以上の場合 6年(1年)	①設備資金 20年以内(5年以内) 運転資金 15年以内(//) ②設備・運転資金15年以内(//) ③設備資金 15年以内(3年以内) 運転資金 8年以内(//)	15年以内 (3年以内)
保証人	不要	法人：代表者 個人：家族	
利率等	直接被害の場合：無利子 間接被害の場合：0.9% 詳しくは中小企業基盤整備機構 0120-557-266まで	①基準利率より▲0.5%。融資後3年間は1億円(国民事業は3千万円)まで基準利率より▲1.4%(被害証明等の提出要) ②基準利率より最大▲0.5%。融資後3年間は3千万円まで基準利率より最大▲1.4%。(被害証明等の提出要)(一定の要件に該当する場合) ③基準利率より最大▲0.5%。(一定の要件に該当する場合)	利 率 1.5% (固定) 信用保証料率 0.5%

詳しくは商工会までお問い合わせ下さい

無担保・無保証で利用できる「災害マル経融資制度」について

東日本大震災で被災された小規模事業者の方を対象とした、「災害マル経融資」が創設されました。本制度は、既存マル経とは別枠で限度額1,000万円、また金利の引き下げ(▲0.3%→▲1.2%(貸付後3年間、別枠内に限ります))措置等を大幅に拡充したものです。詳しくは商工会までお問合せ下さい。

金利情報 (11月25日現在)

融 資 名 称	金 利
日本政策金融公庫普通貸付	2.15%
小規模事業者経営改善資金(マル経)	1.85%
多賀城市中小企業振興資金	2.2%
七ヶ浜町中小企業振興資金	2.2%
// 小企業小口資金	2.2%

※毎週水曜日、多賀城事務所にて日本政策金融公庫による「定例相談会」(予約制)を開催中です。どうぞご利用ください!

新年賀詞交歓会

- ◇日 時 平成24年1月5日(木)
午後4時
- ◇場 所 キャッスルプラザ多賀城
- ◇会 費 3,500円
- ◇申込期限 平成23年12月15日(木)

■お申し込み、お問い合わせは
商工会多賀城事務所
Tel 365-7830

新春年賀の会

- ◇日 時 平成24年1月6日(金)
午後3時30分
- ◇場 所 七ヶ浜町中央公民館
- ◇会 費 3,000円
- ◇申込期限 平成23年12月15日(木)

■お申し込み、お問い合わせは
商工会七ヶ浜事務所
Tel 357-3912

宮城県の最低賃金

重要

県内で働く全ての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等含む）とその使用者に適用される宮城県最低賃金が、次のように改正されます。また、宮城県産業別最低賃金（適用除外労働者が設定されています）も改正されます。

宮城県最低賃金	最低賃金額	効力発生日
	時間額	
	675円	23.10.29
鉄鋼業	781円	23.12.15
電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス製造業	744円	
自動車小売業	747円	

※上記の最低賃金には①精皆勤手当 ②通勤手当 ③家族手当 ④賞与 ⑤時間外・休日・深夜手当等は最低賃金の計算に含まれませんのでご注意ください。

労働保険は強制保険です!!

労働保険は労働者が安心して働ける職場作りと安定した事業経営に欠かせない国が直接管掌する保険制度です。

労働者（パート・アルバイトを含む）を一人でも雇っている事業主は労働保険（労災保険・雇用保険）に加入する義務があります。加入を怠っている場合、追徴金が課せられる場合があります。

加入、詳細については労働基準監督署及び公共職業安定所（ハローワーク）または商工会までご連絡ください。

東日本大震災特別相談窓口の開設について

商工会では、今回の震災で被害を受けた会員皆さまの経営に関する特別相談窓口を開設中です。ぜひご利用下さい。

予約制・個人事業主対象 年末調整相談会のご案内

本会では会員（個人）事業主を対象に下記により年末調整相談会を開催いたします。

月日	場所	多賀城事務所	七ヶ浜事務所
1/4 (水)		13:00~16:00	13:00~16:00
5 (木)		9:00~12:00	9:00~16:00
6 (金)		9:00~16:00	9:00~12:00
10 (火)			9:00~16:00

☆必要書類

- 源泉徴収簿・給与台帳
- 生命（損害）保険などの控除証明書
- 納付書（今回使用分及び平成23年上半年分納付済のもの）
- 印鑑 ○市町村に提出する総括表

- ①源泉税の納期特例の納付期限は1月10日(火)です。12月20日(火)までの届出により1月20日(金)まで延納する方法もあります。
- ②混雑が予想されますので12月中の相談をお勧めします。

※東日本大震災により延長されていた国税に関する申告・納付期限が**12月15日(木)**となりました（多賀城市のみ）。平成22年分の確定申告を済まされていない方は商工会で随時受付しておりますので、期限まで申告いただくようお願いいたします。

編集後記

東日本大震災の日から、早8ヶ月の月日が過ぎました。

あの震災は、経験したことのない強い地震や津波だけではなく、いつもの見慣れた街並みの荒廃したさまが重く記憶に残るほどのものでした。

それぞれに、家屋や店舗や事業所を一日も早く復旧・復興するために、前を向いて歩み続ける日々を過ごしてきたことと思います。

私達の市が町が、活気に満ちた街並みを取り戻せるよう会員相互の絆を強くして前進しましょう。

会員皆様の心と身体が健康やかでありますよう祈ります。
小野 恒子

発行責任者 安住 政之
編集委員長 中澤 邦夫
副委員長 鈴木 國男
委員 石垣 ヨシエ
小野 恒子
斎藤 孝一
佐藤 孝一
鈴木 政栄
鈴木 妙子

“ “ “ “ “
鈴木 恒子
木崎 恒子